

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010301010100		事業の類型	3
年度	30	事務事業名	生涯教育企画調整事業	予算事業名	社会教育事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	末政 友紀		
取組み事項	生涯にわたって学べる体制を整備する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	職員、関係課、文化団体、社会教育団体等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	重複事業とならないように日程・内容調整を図り、効果的かつ効率的な生涯教育事業を推進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県事業や市及び関係団体等、社会教育事業の企画・調整を行う					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	社会教育委員会	回数	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
人員	インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員			-		-		-	
支出内訳	臨時職員			-		-		-	
	人件費	348,426	371,112	107	369,740	100	336,284	91	
	事業費	1,955,120	1,942,760	99	2,000,328	103	2,037,000	102	
財源内訳	合計	2,303,546	2,313,872	100	2,370,068	102	2,373,284	100	
	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
一般財源	一般財源	2,303,546	2,313,872	100	2,370,068	102	2,373,284	100	
	合計	2,303,546	2,313,872	100	2,370,068	102	2,373,284	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会教育委員会							
指標説明(式)		実施回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

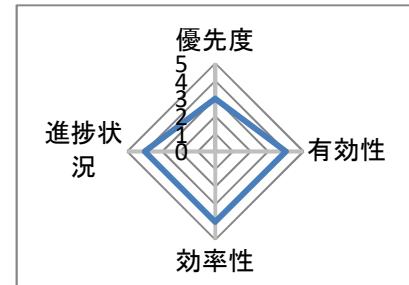
指標名1		公民館運営審議会開催回数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	一	0	一	0	一	
	実績	0	0	一	0	一			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			一		一		一	
	実績			一		一			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	重複事業による無駄・無理を排除し、効率的な事業を展開している	4
	市民サービス	社会教育委員会を開催し、委員の意見を反映させた施策を実施している	
効率性	執行体制の効率性	公民館運営審議会と統合し、効率的な運営を行っている	4
	コストの節減	公民館運営審議会との統合により、会議開催が減なっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	公民館運営審議会と内容が重複する部分があり、統合した。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	社会教育委員会との連携を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010301010200		事業の類型	4
年度	30	事務事業名	相生っ子学び塾事業	予算事業名	相生っ子学び塾事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	山本 健太		
取組み事項	生涯にわたって学べる体制を整備する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市内小学校5, 6年生及び保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	基礎学力の定着、自学自習の姿勢を身につける。地域の人がボランティア講師として関わることにより、地域ぐるみで教育支援を行うことで、子どもたちの健やかな成長を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	基礎学力の定着・自字自習の習慣つけを行うことを目的に「現代版寺子屋」として開始。地域のボランティアの参加により、家庭の経済的負担なしで希望者が参加でき、対象を5、6年生とした国語・算数、英語、珠算の講座を実施。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	開設日数(国・算)	回	203	188	180
	開設日数(英)	回	126	125	121
	開設日数(珠算)	回	18	18	26
					27

3 投入資源

	会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104
	参事以下職員	0.380	0.380	100	0.384	101	0.380	99
	臨時職員	0.688	0.354	51	0.381	108	0.690	181
支出内訳	人件費	5,005,342	4,236,388	85	4,279,385	101	5,301,484	124
	事業費	4,491,602	4,108,179	91	4,038,193	98	4,416,000	109
	合計	9,496,944	8,344,567	88	8,317,578	100	9,717,484	117
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-
	県支出金	1,413,000	1,588,200	112	1,552,000	98	2,055,000	132
	市債			-	-	-	-	-
	その他	132,000	122,400	93	108,800	89	120,000	110
	一般財源	7,951,944	6,633,967	83	6,656,778	100	7,542,484	113
	合計	9,496,944	8,344,567	88	8,317,578	100	9,717,484	117

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	児童延べ登録数							
指標説明(式)	(国語・算数登録)+(英語登録)+(珠算登録)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
人数	目標	250	300	120.0	300	100.0	300	100.0
	実績	289	259	89.6	224	86.5		
指標名2	講座参加率							
指標説明(式)	(国語・算数延開設)+(英語延開設)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
数	目標	33.3	36.0	108.1	33.3	92.5	33.3	100.0
	実績	35.7	31.9	89.4	28.5	89.3		

【効率性】

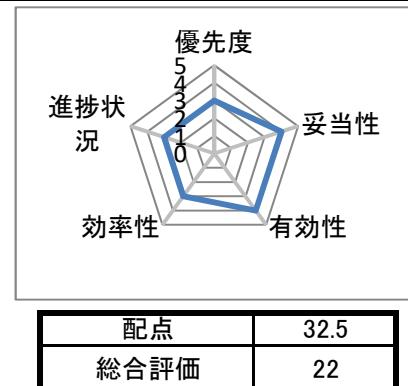
指標名1		児童一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷児童の登録数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	41760	35036	83.9	34946	99.7	32392	92.7	
	実績	32861	32218	98.0	37132	115.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	家庭の経済的負担なしで誰でも希望すれば参加でき、希望者に勉強できる機会を提供できた。	4
	成果の向上	成果について明確な数値はないがアンケートで「集中して取り組むようになった」「英語に興味を持つようになった」などの意見があり、効果が表れている。	
効率性	執行体制の効率性	効果を得るために学校との連携を拡大していく必要がある。参加児童や保護者からのアンケート結果を参考に講師が定期的に授業の進め方や教材について協議を行い有効な授業形態を作った。	3
	手段の最適性	年々、参加率が微減している中で、特に基礎学力を身につける必要のある子どもや保護者への声かけ等、学校とのさらなる連携が必要である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	年々、参加率が減少している要因の分析と事業の総点検が必要。講師ボランティアの確保。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	珠算については、対象を4年生以上に拡大するとともに事業の周知について、学校との連携をさらに図る。

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010301020200		事業の類型	3
年度	30	事務事業名	公民館管理事業	予算事業名	公民館管理事業	優先度	4
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	末政 友紀		
取組み事項	サービスの充実を図る	実施計画への記載	有	主要事業の指定	無		
実施計画事業名	公民館環境整備事業	公民館維持管理事業					
根拠法規及び関連法規	社会教育法第5条						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	公民館施設運営					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者のために公民館の維持管理をするとともに、公民館の運営について審議することで、各活動が行える状態にする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として管理運営を行う				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	施設	個所	5	5	5	5
	公民館運営審議会	回数	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.280	0.280	100	0.284	101	0.280	99	
	臨時職員	1.136	1.136	100	1.500	132	1.136	76	
支出内訳	人件費	5,419,778	5,524,376	102	6,634,496	120	5,796,004	87	
	事業費	19,636,109	22,159,647	113	13,415,271	61	17,720,000	132	
	合計	25,055,887	27,684,023	110	20,049,767	72	23,516,004	117	
財源内訳	国庫支出金	596,000	1,298,891	218	0		-		
	県支出金			-	-		-		
	市債			-	-		-		
	その他	1,960,850		0	1,793,750	-	1,790,000	100	
	一般財源	22,499,037	26,385,132	117	18,256,017	69	21,726,004	119	
	合計	25,055,887	27,684,023	110	20,049,767	72	23,516,004	117	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	57000	57000	100.0	57000	100.0	57000	100.0	
	実績	55463	52339	94.4	50470	96.4			
指標名2		公民館運営審議会開催回数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

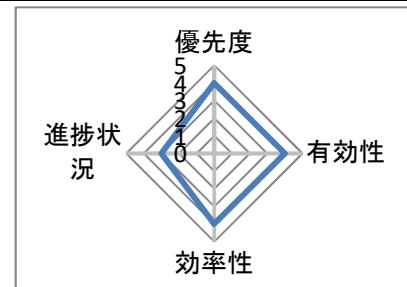
指標名1		1館当たりの維持管理経費							
指標説明(式)		年間維持管理経費 ÷ 施設数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5245140	5814315	110.9	4166876	71.7	4703200	112.9	
	実績	5011177	5536804	110.5	4009953	72.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持管理に努め、より施設の利便性を高め利用拡大に努めた	4
	組織運営・適正管理	公民館運営協議会設置公民館については、地域からの意見等を反映させている	
効率性	コストの節減	光熱水費等節約に努めている	4
	執行体制の効率性	公民館運営協議会において、地域からの意見等を反映させている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化による維持管理費の増大が課題となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	全施設のトイレの一部を洋式化にし、利用者の要望に対応していく。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010301020300		事業の類型	4
年度	30	事務事業名	公民館活動事業	予算事業名	公民館活動事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	末政 友紀		
取組み事項	サービスの充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	社会教育法第5条						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要	社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	定期講座	回数	638	603	637
	定期講座受講者	人数	10051	9184	9245
					9300

3 投入資源

	会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100
	臨時職員	3.400	3.400	100	3.026	89	3.400	112
支出内訳	人件費	9,513,626	9,635,432	101	9,046,094	94	10,408,484	115
	事業費	14,177,703	13,800,312	97	14,278,707	103	13,958,000	98
	合計	23,691,329	23,435,744	99	23,324,801	100	24,366,484	104
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-
	県支出金			-	-	-	-	-
	市債			-	-	-	-	-
	その他			-	-	-	-	-
	一般財源	23,691,329	23,435,744	99	23,324,801	100	24,366,484	104
	合計	23,691,329	23,435,744	99	23,324,801	100	24,366,484	104

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	定期講座参加者数							
指標説明(式)	参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
人数	目標	9000	10000	111.1	10000	100.0	10000	100.0
	実績	10051	9184	91.4	9245	100.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		

【効率性】

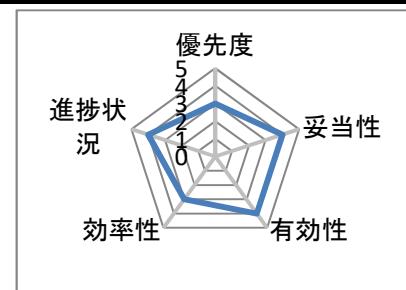
指標名1	参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)	(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
円	目標	2698	2449	90.8	2473	101.0	2436	98.5
	実績	2357	2551	108.2	2522	98.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			—		—		—
	実績			—		—		

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し、市民の生涯学習の支援を行った	4
	市民サービス	住民の幅広い学習ニーズに即応した事業を積極的に開催する	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	3
	手段の最適性		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	主催事業の参加者数増に努める



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	公民館ホームページ等、広報の充実を図る

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010301020400		事業の類型	3
年度	30	事務事業名	多目的研修センター管理事業	予算事業名	多目的研修センター管理事業	優先度	4
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	末政 友紀		
取組み事項	サービスの充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名	若狭野多目的研修センター環境整備事業						
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	多目的研修センター施設運営					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者のために多目的研修センターの維持管理をする					

2 事業の概要 Do

	実施の概要	社会教育類似施設として管理運営を行う				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	施設	施設	1	1	1	1

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.060	0.060	100	0.060	100	0.060	100	
	臨時職員	0.227	0.227	100	0.300	132	0.227	76	
支出内訳	人件費	1,392,315	1,432,110	103	1,646,480	115	1,459,074	89	
	事業費	2,068,489	2,246,775	109	1,984,323	88	3,436,000	173	
	合計	3,460,804	3,678,885	106	3,630,803	99	4,895,074	135	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金			-	-	-	-	-	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他	225,300		0					
	一般財源	3,235,504	3,678,885	114	3,630,803	99	4,895,074	135	
	合計	3,460,804	3,678,885	106	3,630,803	99	4,895,074	135	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

	指標名1	施設利用者数							
	指標説明(式)	年間利用者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	10000	10000	100.0	8000	80.0	8000	100.0	
	実績	7454	6566	88.1	7334	111.7			
	指標名2								
	指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

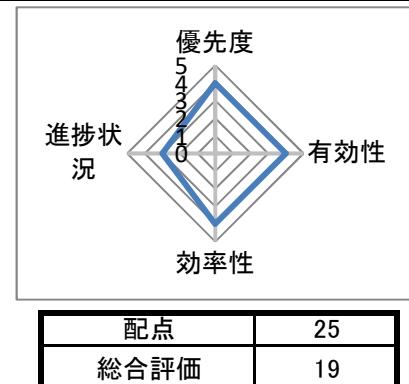
指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		事業費+人件費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4396324	4128356	93.9	4932310	119.5	4895074	99.2	
	実績	3460804	3678885	106.3	3630803	98.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持管理に努め、より施設の利便性を高め利用拡大に努めた	4
	組織運営・適正管理	公民館と同様の取り扱いとしている	
効率性	コストの節減	光熱水費等節約に努めている	4
	執行体制の効率性	公民館と同様の取り扱いとしている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化による維持管理費の増大が課題となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	施設のトイレを洋式化にし、利用者の要望に対応していく。

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号			010301020500		事業の類型	4
年度	30	事務事業名	多目的研修センター活動事業	予算事業名	多目的研修センター活動事業	優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課			3
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	末政 友紀	
取組み事項	サービスの充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする				

2 事業の概要 Do

実施の概要	社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	定期講座	回数	116	108	109
	定期講座受講者	人数	1332	1398	1622
					110
					1500

3 投入資源

会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008
	臨時職員	0.680	0.680	100	0.908	134	0.680
支出内訳	人件費	2,181,466	2,223,976	102	2,943,464	132	2,350,724
	事業費	2,728,470	2,709,232	99	2,836,994	105	2,677,000
	合計	4,909,936	4,933,208	100	5,780,458	117	5,027,724
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-
	県支出金			-	-	-	-
	市債			-	-	-	-
	その他			-	-	-	-
	一般財源	4,909,936	4,933,208	100	5,780,458	117	5,027,724
	合計	4,909,936	4,933,208	100	5,780,458	117	5,027,724

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	定期講座参加者数							
指標説明(式)	参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
人数	目標	1300	1400	107.7	1400	100.0	1500	107.1
	実績	1332	1398	105.0	1622	116.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		-

【効率性】

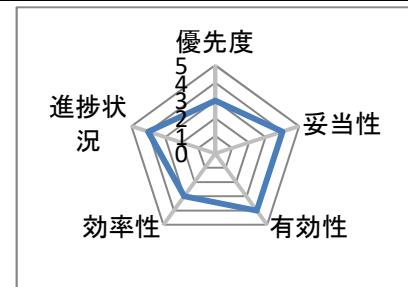
指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3825	3592	93.9	4094	114.0	3351	81.9	
	実績	3686	3528	95.7	3563	101.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し、市民の生涯学習の支援を行った	4
	市民サービス	住民の幅広い学習ニーズに即応した事業を積極的に開催する	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	主催事業の参加者数増に努める



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	ホームページ等、広報の充実を図る

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010301020600		事業の類型	3
年度	30	事務事業名	図書館管理運営事業	予算事業名	図書館運営管理事業	優先度	4
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	森田 敏雄		
取組み事項	サービスの充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名	図書館管理システム更新	図書館維持修繕工事					
	図書館更新事業	図書館トータルシステム管理委託事業					
根拠法規及び関連法規	社会教育法、図書館法、相生市立図書館条例・同条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の社会教育と文化の発展を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		図書館への関心を高め、読書への理解を深めるとともに、館の適切な管理運営を行う					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	貸出利用者数	人	34841	32548	31472	32000	
	会議室等利用者数	人	2511	2481	2615	2600	
	蔵書冊数	冊	128079	127102	126280	126500	
	登録者数	人	16159	15772	16129	16100	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
人員	インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	1.782	1.778	100	1.972	111	1.934	98	
支出内訳	臨時職員			-		-		-	
	人件費	13,775,796	14,093,716	102	15,029,588	107	15,527,854	103	
	事業費	37,718,666	37,018,762	98	49,407,792	133	40,704,000	82	
財源内訳	合計	51,494,462	51,112,478	99	64,437,380	126	56,231,854	87	
	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
一般財源	一般財源	51,494,462	51,112,478	99	64,437,380	126	56,231,854	87	
	合計	51,494,462	51,112,478	99	64,437,380	126	56,231,854	87	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		住民一人当たりの蔵書冊数							
指標説明(式)		蔵書冊数 ÷ 人口							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
指標名2		一日当たりの利用者数							
指標説明(式)		(貸出利用者数 + 会議室等利用者数) ÷ 開館日数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	135	135	100.0	123	91.1	122	99.2	
	実績	131	123	93.9	122	99.2	122	99.2	

【効率性】

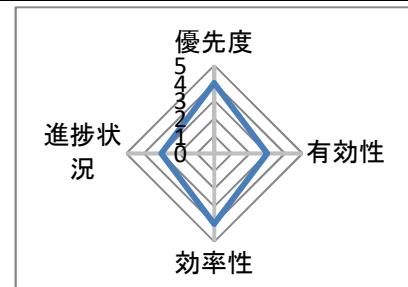
指標名1		利用者一人当たりの開館コスト							
指標説明(式)		図書館管理運営事業費 ÷ (貸出利用者数 + 会議室等利用者数)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1200	1200	100.0	1868	155.7	1625	87.0	
	実績	1379	1459	105.8	1890	129.5			
指標名2		人口に占める登録者率							
指標説明(式)		登録者数 ÷ 人口 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	52	53	101.9	53	100.0	55	103.8	
	実績	53	53	100.0	55	103.8			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ホームページ等により、祝日開館、開館時間延長が市民に浸透してきた。	3
	組織運営・適正管理	図書館一部業務委託を実施し、コストの低減化を図りながら、サービスの向上に努めた。	
効率性	コストの節減	図書館一部業務委託により、人件費減を継続した。	4
	手段の最適性	図書館一部業務委託事業者と定期的に打合せを行い、利用者サービスの向上に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	民間のノウハウの導入により、利用者の利便性が図られていることから貸出冊数の増加を目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	祝日開館、開館時間延長を更にPRしていく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010301020700		事業の類型	4
年度	30	事務事業名	図書館活動事業	予算事業名	図書館活動事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	森田 敏雄		
取組み事項	サービスの充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会教育法、図書館法、市図書館条例・同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の教育と文化の発展を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		図書資料の充実、適正管理による利用者への読書活動啓発を行う					
活動実績		項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
図書購入冊数		冊		4197	4967	4585	4500
図書貸出冊数		冊		161980	162868	160890	162000
15歳以下の貸出冊数		冊		26832	27004	28553	28500

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
人員	インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.887	0.860	97	1.040	121	0.900	87	
支出内訳	臨時職員			-		-		-	
	人件費	7,031,971	7,008,592	100	8,101,100	116	7,405,784	91	
	事業費	8,367,245	8,268,277	99	8,149,158	99	7,871,000	97	
財源内訳	合計	15,399,216	15,276,869	99	16,250,258	106	15,276,784	94	
	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
一般財源	一般財源	15,399,216	15,276,869	99	16,250,258	106	15,276,784	94	
	合計	15,399,216	15,276,869	99	16,250,258	106	15,276,784	94	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		年間貸出冊数に占める児童書(文学・絵本)年間貸出冊数率							
指標説明(式)		(年間児童書(文学・絵本)貸出冊数 ÷ 年間貸出冊数) × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	21	22	104.8	22	100.0	22	100.0	
	実績	27	32	118.5	33	103.1			
指標名2		有効登録者一人当たりの年間貸出冊数							
指標説明(式)		年間貸出冊数 ÷ 有効登録者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	11	11	100.0	11	100.0	11	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			

【効率性】

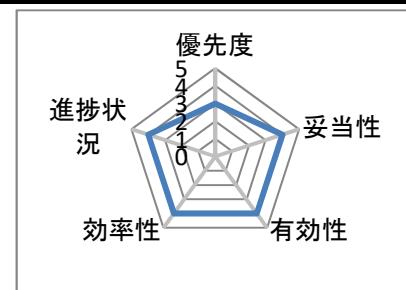
指標名1		一日当たりの貸出冊数							
指標説明(式)		貸出冊数(本館のみ) ÷ 開館日数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	570	570	100.0	570	100.0	570	100.0	
	実績	560	566	101.1	570	100.7			
指標名2		一冊当たりの貸出コスト							
指標説明(式)		図書購入事業費(人件費を除く) ÷ 貸出冊数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
冊	目標	55	55	100.0	50	90.9	50	100.0	
	実績	52	51	98.1	51	100.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	資料館の特別展に協力し、郷土資料室で保管している資料公開を行った。	4
効率性	手段の最適性	事業の重要性により、選書については業務委託項目から除外し、引き続き司書の専門性を生かした選書を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校図書室を含む関係機関との連携の促進を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校図書室向けの研修を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010302010100		事業の類型	5
年度	30	事務事業名	青少年育成補助金事業	予算事業名	青少年育成補助金事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	山本 健太		
取組み事項	青少年健全育成体制を整備する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者					
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を推進することにより、青少年の健全育成を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		青少年の団体に対し補助金を交付する					
活動実績		項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
青少年芸術文化助成金		団体数		0	0	0	0
事業補助金交付団体		団体数		2	2	2	2

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.024	100	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	529,266	556,344	105	548,156	99	524,804	96	
	事業費	205,000	205,000	100	185,000	90	185,000	100	
	合計	734,266	761,344	104	733,156	96	709,804	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	734,266	761,344	104	733,156	96	709,804	97	
	合計	734,266	761,344	104	733,156	96	709,804	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	青少年芸術文化活動助成金							
指標説明(式)	団体							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
団体数	目標	0	0	-	0	-	0	-
	実績	0	0	-	0	-		
指標名2	事業補助金交付団体							
指標説明(式)	団体							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
団体数	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0
	実績	2	2	100.0	2	100.0		

【効率性】

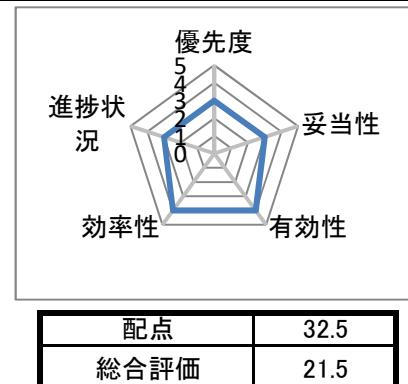
指標名1		青少年芸術文化助成金							
指標説明(式)		助成金÷団体数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		事業補助金							
指標説明(式)		金額							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	160000	160000	100.0	140000	87.5	140000	100.0	
	実績	160000	160000	100.0	140000	87.5			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	少子化や団体加入に対する意識の変化等により、団体の会員数は減少傾向にあるが、青少年健全育成のための事業を支援することは必要である。	4
	期待する目標	様々な事業を展開することで、青少年の健全育成・地域の活性化に寄与している。	
効率性	コストの節減	団体の活動内容を検証しながら、補助金の額を検討していく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	少子化により会員数が減少傾向である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	団体の活動に対する検証を続け、団体の存在を周知する。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010302020100		事業の類型	4
年度	30	事務事業名	こども学習センター管理事業	予算事業名	こども学習センター管理事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる	担当課長	宮崎 義正	担当者名	萩原 達朗		
取組み事項	青少年活動の機会や場の充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名	こども学習センター耐震改修事業						
根拠法規及び関連法規	相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	不登校児童生徒、青少年及び子育て中の保護者					
	誰(何)を対象として	施設管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理					

2 事業の概要 Do

実施の概要	教育の拠点施設としてのこども学習センターの施設維持管理を行つ。こども学習センター機能は、子育て学習センター、少年育成センター、適応教室、教育研究所である。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	維持修繕件数	件	3	1	4

3 投入資源

	会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104
	参事以下職員	0.224	0.232	104	0.220	95	0.220	100
	臨時職員	0.132	0.136	103	0.136	100	0.136	100
支出内訳	人件費	2,380,390	2,519,912	106	2,381,804	95	2,454,704	103
	事業費	2,751,726	6,383,041	232	5,040,984	79	65,297,000	1,295
	合計	5,132,116	8,902,953	173	7,422,788	83	67,751,704	913
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-
	県支出金			-	-	-	-	-
	市債			-	-	-	-	-
	その他			-	-	-	-	-
	一般財源	5,132,116	8,902,953	173	7,422,788	83	67,751,704	913
	合計	5,132,116	8,902,953	173	7,422,788	83	67,751,704	913

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)	設置目的を達成するため、施設の適正な維持管理を行う。							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		

【効率性】

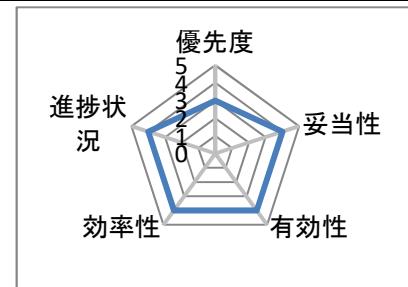
指標名1		各年度の決算額(千円)							
指標説明(式)		前年比(人的経費、臨時の経費を除く。)							
指標単位 円	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	3,000	2,995	99.8	2,978	99.4	2,997	100.6	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位 円	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
実績				—		—		—	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	予算の範囲内ではあるが、不具合部分に対して有効な維持管理を実施できた。	4
	市民サービス	施設修繕を実施することで、利用しやすい環境維持ができた。	
効率性	コストの節減	必要最小限のコストで管理できた。	4
	手段の最適性	施設運営者の要望を聴取し、修繕箇所を協議の中で決定するなど、効率的に実施できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	耐震診断を実施し、耐震性確保に向けた耐震計画を策定した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	耐震診断の結果、耐震強度不足であり施設の安全確保が必要であった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の安全性向上のため、耐震改修工事を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010302020200		事業の類型	4					
年度	30	事務事業名	青少年育成事業	予算事業名	青少年育成事業	優先度	3					
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課							
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる			担当課長	番匠 真由美	担当者名	山本 健太					
取組み事項	青少年活動の機会や場の充実を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無					
実施計画事業名												
根拠法規及び関連法規												
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者										
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者										
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を実施することにより、青少年の健全育成を図る										

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生子どもチャレンジパスポート事業、成人式を、青少年育成事業として実施する。					
活動実績	項目		単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	げんキッズイングリッシュキャンプ		人数	85	96	0	0
	チャレンジパスポート提出人数		人数	278	277	286	290
	成人式参加者数		人数	224	247	201	240

3 投入資源

	会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104
	参事以下職員	0.428	0.388	91	0.388	100	0.388	100
	臨時職員	0.400	0.400	100	0.400	100	0.400	100
支出内訳	人件費	4,616,206	4,419,296	96	4,361,732	99	4,532,024	104
	事業費	3,865,942	3,611,388	93	879,708	24	735,000	84
	合計	8,482,148	8,030,684	95	5,241,440	65	5,267,024	100
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-
	県支出金			-	-	-	-	-
	市債			-	-	-	-	-
	その他	850,000	992,400	117	0	0	0	-
	一般財源	7,632,148	7,038,284	92	5,241,440	74	5,267,024	100
	合計	8,482,148	8,030,684	95	5,241,440	65	5,267,024	100

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	げんキッズイングリッシュキャンプ参加人員							
指標説明(式)	参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
人	目標	100	100	100.0	0	0.0	0	-
	実績	85	96	112.9	0	0.0		
指標名2	相生子どもチャレンジパスポート提出人数							
指標説明(式)	提出人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
人	目標	290	290	100.0	290	100.0	290	100.0
	実績	278	277	99.6	286	103.2		

【効率性】

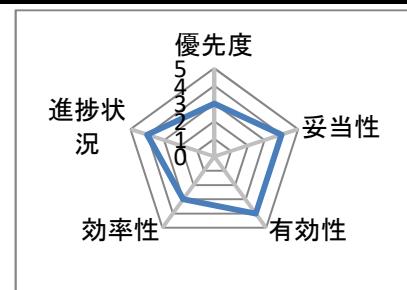
指標名1		げんキッズイングリッシュキャンプボランティア人員							
指標説明(式)		ボランティア人員数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	35	175.0	0	0.0	0	-	
	実績	38	29	76.3	0	0.0			
指標名2		一人あたりコスト(チャレンジパスポート)							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷提出人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	30000	30000	100.0	20000	66.7	18162	90.8	
	実績	30511	28991	95.0	18326	63.2			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市内のイベント等に興味、参加を促す。	4
	市民サービス	子どものニーズに応える事業展開を行い、適切なサービス提供を行う。	
効率性	コストの節減	事業全体としては、参加者数に対し効率的に運営出来ている。	3
	手段の最適性	事業全体を検証し、効率的な運営を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	少子化により、成人式対象者が減少している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに応える為、参加しやすい日程で実施している。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010302020300		事業の類型	4
年度	30	事務事業名	放課後子ども教室推進事業	予算事業名	放課後子ども教室推進事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会生涯学習課				
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる	担当課長	番匠 真由美	担当者名	末政 友紀		
取組み事項	青少年活動の機会や場の充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童とその保護者					
	誰(何)を対象として	小学校児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	放課後に安心安全に活動できる場所の確保及び地域・世代間交流					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校全学年を対象に、週2回から3回、放課後から午後4時30分(冬季は午後4時)まで、地域住民の協力の下、学校施設を利用し、安心できる学習の場や遊びの場を提供する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	開設校	学校数	7	7	7	7	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
人員	インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.156	0.156	100	0.156	100	0.156	100	
支出内訳	臨時職員	0.648	0.608	94	0.608	100	0.608	100	
	人件費	3,213,222	3,176,592	99	3,212,996	101	3,306,624	103	
	事業費	2,035,914	2,106,631	103	2,004,661	95	2,425,000	121	
財源内訳	合計	5,249,136	5,283,223	101	5,217,657	99	5,731,624	110	
	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金	1,078,000		0	1,113,000	-	1,113,000	100	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
一般財源	一般財源	4,171,136	5,283,223	127	4,104,657	78	4,618,624	113	
	合計	5,249,136	5,283,223	101	5,217,657	99	5,731,624	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開設学校数							
指標説明(式)		学校数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
学校数	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
指標名2		参加児童数							
指標説明(式)		延参加児童数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	15000	15000	100.0	15500	103.3	15500	100.0	
	実績	14585	15074	103.4	13873	92.0	15500	100.0	

【効率性】

指標名1		受け入れ一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設学校数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	829744	816243	98.4	825037	101.1	818803	99.2	
	実績	749876	754746	100.6	745380	98.8			
指標名2		受け入れ一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷延べ参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	387	380	98.2	372	97.9	380	102.2	
	実績	360	350	97.2	376	107.4			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加児童は横ばいの状況である。	3
	市民サービス	宿題や復習などの学び、体育館や運動場でのボール遊びや伝統遊びなど様々な活動を通して、地域のボランティアとの交流を図り、子どもの安全な居場所となっている。	
効率性	コストの節減	指導ボランティアの適切な配置により、無駄のない運営が行われた	4
	手段の最適性	指導ボランティアによる適切な運営が行われた	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地域ボランティアの確保



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	入級児童数によるボランティアの適切な配置

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

			事業番号	010302030100		事業の類型	1
年度	30	事務事業名	補導委員活動事業	予算事業名	補導委員活動事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課				
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉		
取組み事項	補導活動や相談体制の充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例(平成14年条例第42号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年					
	誰(何)を対象として	青少年					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		少年の補導、少年の非行防止、関係諸機関との連絡調整、青少年や家族の悩みに対し適切な助言と指導の充実を図る。					
活動実績		項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
		補導回数	回	205	187	196	180
		補導従事者数	人	937	955	950	900

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	951,226	988,552	104	964,460	98	964,684	100	
	事業費	1,511,101	1,496,142	99	1,506,124	101	1,549,000	103	
	合計	2,462,327	2,484,694	101	2,470,584	99	2,513,684	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,462,327	2,484,694	101	2,470,584	99	2,513,684	102	
	合計	2,462,327	2,484,694	101	2,470,584	99	2,513,684	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

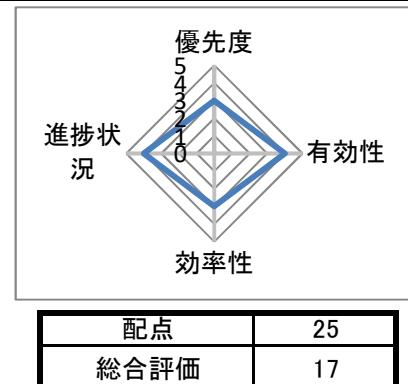
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			一		一		一	
	実績			一		一		一	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			一		一		一	
	実績			一		一		一	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の非行を防止し、その健全な育成が図れた。	4
	関係(根拠) 法令等から見た効果	法律に基づいた青少年育成活動が効果的に実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的なコストの運用が図れた。	3
	執行体制の効率性	効果的に活動体制により、効率的に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	補導委員会、学校、警察等の関係機関の役割を明確にし、協力体制を維持する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	補導委員会総会等の場で、関係機関と現状課題、本年度取り組みの共有を徹底し、事業を推進していく。

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号			010302040100		事業の類型	1
年度	30	事務事業名	青少年問題協議会運営事業	予算事業名	青少年問題協議会運営事業	優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課			3
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉	
取組み事項	地域ぐるみで健全育成を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規	相生市青少年問題協議会設置条例 地方青少年問題協議会法(昭和28年法律第83号)第6条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年				
	誰(何)を対象として	青少年				
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の指導、育成、保護及び矯正				

2 事業の概要 Do

実施の概要	青少年問題協議会において、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事項を調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績

3 投入資源

会計区分	一般会計			事業費単位:円				
インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104
	参事以下職員	0.152	0.152	100	0.160	105	0.140	88
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100		0
支出内訳	人件費	1,514,602	1,565,320	103	1,581,332	101	1,435,984	91
	事業費	98,900	83,600	85	121,600	145	108,000	89
	合計	1,613,502	1,648,920	102	1,702,932	103	1,543,984	91
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-
	県支出金			-	-	-	-	-
	市債			-	-	-	-	-
	その他			-	-	-	-	-
	一般財源	1,613,502	1,648,920	102	1,702,932	103	1,543,984	91
	合計	1,613,502	1,648,920	102	1,702,932	103	1,543,984	91

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		

【効率性】

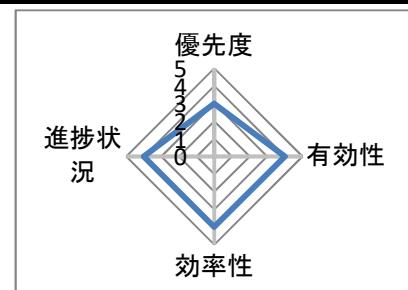
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の指導、育成、保護及び矯正。	4
	組織運営・適正管理	法律に基づいた実施体制により効果が得られた。	
効率性	執行体制の効率性	協議会の運営が効率的に行われた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号			010302040200		事業の類型	1
年度	30	事務事業名	青少年健全育成活動事業	予算事業名	青少年健全育成活動事業	優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課			3
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉	
取組み事項	地域ぐるみで健全育成を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規	相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例(平成14年条例第42号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年				
	誰(何)を対象として	青少年				
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることを目的とする。				

2 事業の概要 Do

実施の概要	中学校区青少年健全育成協議会の活動を通して、環境浄化活動や青少年の問題行動の未然防止を地域ぐるみで取り組む。また、青少年や家族の悩みに対し、適切な助言と指導の充実を図る。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	教育相談	件	86	70	92
					85

3 投入資源

	会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標	28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104
	参事以下職員	0.076	0.076	100	0.076	100	0.080	105
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	921,086	957,680	104	934,724	98	964,684	103
	事業費	6,426,429	6,697,532	104	6,400,210	96	7,101,000	111
	合計	7,347,515	7,655,212	104	7,334,934	96	8,065,684	110
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金	593,980	598,310	101	602,200	101	508,000	84
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	6,753,535	7,056,902	104	6,732,734	95	7,557,684	112
	合計	7,347,515	7,655,212	104	7,334,934	96	8,065,684	110

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比
	目標			-		-		-
	実績			-		-		

【効率性】

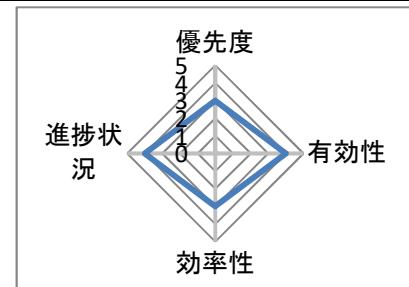
指標名1		相談経費							
指標説明(式)		事業決算額 ÷ 相談件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	66,890	79,778	119.3	81,850	102.6	83,541	102.1	
	実績	74,726	95,679	128.0	69,568	72.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スクールソーシャルワーカーを配置し、各小中学校、保護者への指導を充実させたことで、児童・生徒の健全な育成を図ることができた。	4
	関係(根拠) 法令等から見た効果	法律に基づいた育成活動が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的なコストの運用が図れた。	3
	執行体制の効率性	学識経験者等による執行体制により効率的活動の実施が行えた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	中学校区毎にスクールソーシャルワーカーを配置し、各小中学校、保護者への指導を充実させ、児童・生徒の健全な育成を図る

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040300		事業の類型	4
年度	30	事務事業名	相生市民さわやかあいさつ運動事業	予算事業名	相生市民さわやかあいさつ運動事業	優先度
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	企画総務部企画広報課			4
施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる	担当課長	松尾 次郎	担当者名	北條 麻梨香	
取組み事項	地域ぐるみで健全育成を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民総ぐるみのあいさつ運動を推進することにより、青少年の健全育成や社会性を育むとともに、地域の青少年は地域で守り育てる意識の高揚を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		あいさつ運動キャンペーン実施数				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	実施数	回	-	3	3	3

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	438,846	463,728	106	458,948	99	430,544	94	
	事業費	445,500	442,800	99	440,640	100	400,000	91	
	合計	884,346	906,528	103	899,588	99	830,544	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	884,346	906,528	103	899,588	99	830,544	92	
	合計	884,346	906,528	103	899,588	99	830,544	92	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市内啓発範囲							
指標説明(式)		あいさつ運動のぼり配付自治会数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
自治会	目標	23	23	100.0	23	100.0	23	100.0	
	実績	23	23	100.0	23	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

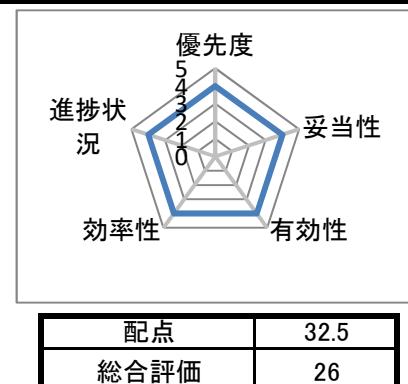
指標名1		あいさつ運動キャンペーン実施数							
指標説明(式)		あいさつ運動啓発のため実施したキャンペーンなどの数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	3	-	3	100.0	-	0.0	
	実績	-	3	-		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	連合自治会の協力により、広い地域で啓発ができている。	4
	成果の向上	相生市民あいさつデーの設定、振り込み防止キャンペーン及びくらしの生活展でのキャンペーンにより多くの方に啓発ができた。	
効率性	手段の最適性	秋の交通安全運動とあわせて、消費生活研究会、自治会、小学校、幼稚園、保育所、高等学校、市内事業所で「相生市民あいさつデー」としてあいさつ運動を実施した。	4
	コストの節減	啓発用のぼりの適正な管理	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	地元企業等へのあいさつ運動を広げる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	商工会議所と連携を図り、地元企業等へもあいさつ運動を浸透させる。

配点	32.5
総合評価	26